

4 救命救急センター



主要傷病別患者数

西宮市、尼崎市を筆頭に阪神地区全般からの救急要請に対し受け入れている。

県内でもTop3に入る規模で重症の新型コロナウイルス感染症患者を受け入れている。

通常救急に関しても新型コロナウイルス感染症受入れのためベッド数の制限はあるが、外傷、熱傷、敗血症などの重症疾患を受け入れている。

病院前診療

ドクターカーの運用は地域による病院施設の疾患特異性や、外傷診療科過疎地域など、その出動回数に偏りがある。MC協議会で引き続きドクターカーの運用について適正化を図っていく。当施設でも本来の3次救急医療施設としての設備や教育は継続すべきである。

院内災害訓練

院内訓練を継続し、南海トラフ地震を想定した各診療科とDMATを交えたタスクフォースへと発展させたい。

今後の治療方針

① 2025年問題

来たる2025年の高齢者人口のピークに合わせて、必ずしも積極的な治療のみが患者とその家族のニーズに応えるものでは無くなっており、今後社会の動向に合わせて検討が必要である。

② 周辺施設との協調

当施設の医療圏である阪神圏域は180万人規模の医療圏に増加するが、周辺の施設とのつながりは今まであまり無かった。昨年度より、県立西宮病院、宝塚市立病院、協立病院などに医師を派遣し、それらの施設と協調する事で医療資源の散在、無駄を省き、患者の集約化を進めていく。

③ 新型コロナウイルス感染症の対応

適正な感染防止策を講じながら、重症の新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを引き続き行い、ECMOや人工呼吸器などを用いた高度集中治療を提供する。

4-1 月別入院患者状況

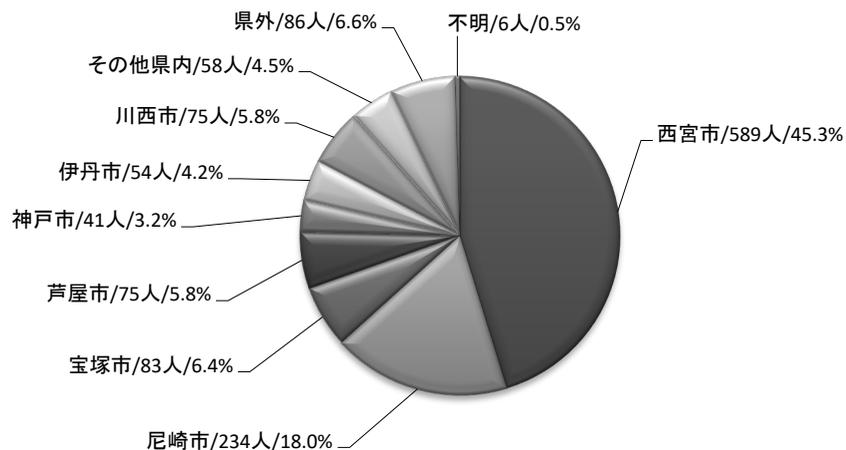
(人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
診療日数(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
E I C U	新入室	109	130	101	112	104	131	132	135	101	135	89	93	1,372
	転入	8	9	8	8	10	5	16	6	4	3	3	3	83
	退院	23	14	14	11	15	23	11	25	18	20	24	24	222
	転出	98	124	93	110	100	114	136	118	92	112	69	73	1,239
	延在室	309	314	326	332	312	329	338	330	233	190	306	244	3,563
	一日平均	10.3	10.1	10.9	10.7	10.1	11.0	10.9	11.0	7.5	6.1	10.9	7.9	9.8
	利用率(%)	57.2	56.3	60.4	59.5	55.9	60.9	60.6	61.1	41.8	34.1	45.5	32.8	51.5
	稼働率(%)	79.6	81.0	80.2	81.2	76.5	86.3	86.9	87.6	61.5	57.7	59.4	45.8	72.6
救 急 病 棟	新入室	9	3	9	9	5	8	8	6	6	13	7	9	92
	転入	61	69	60	73	54	70	74	61	59	66	47	42	736
	退院	40	34	34	37	31	37	29	21	26	29	12	18	348
	転出	34	35	39	44	33	39	49	49	39	51	42	36	490
	延在室	478	551	494	517	528	500	571	554	489	499	354	388	5,923
	一日平均	15.9	17.8	16.5	16.7	17.0	16.7	18.4	18.5	15.8	16.1	12.6	12.5	16.2
	利用率(%)	66.4	74.1	68.6	69.5	71.0	69.4	76.7	76.9	65.7	67.1	70.2	69.5	70.5
	稼働率(%)	76.7	83.3	78.8	80.4	79.6	80.0	87.2	86.7	74.5	77.8	81.0	79.2	80.4

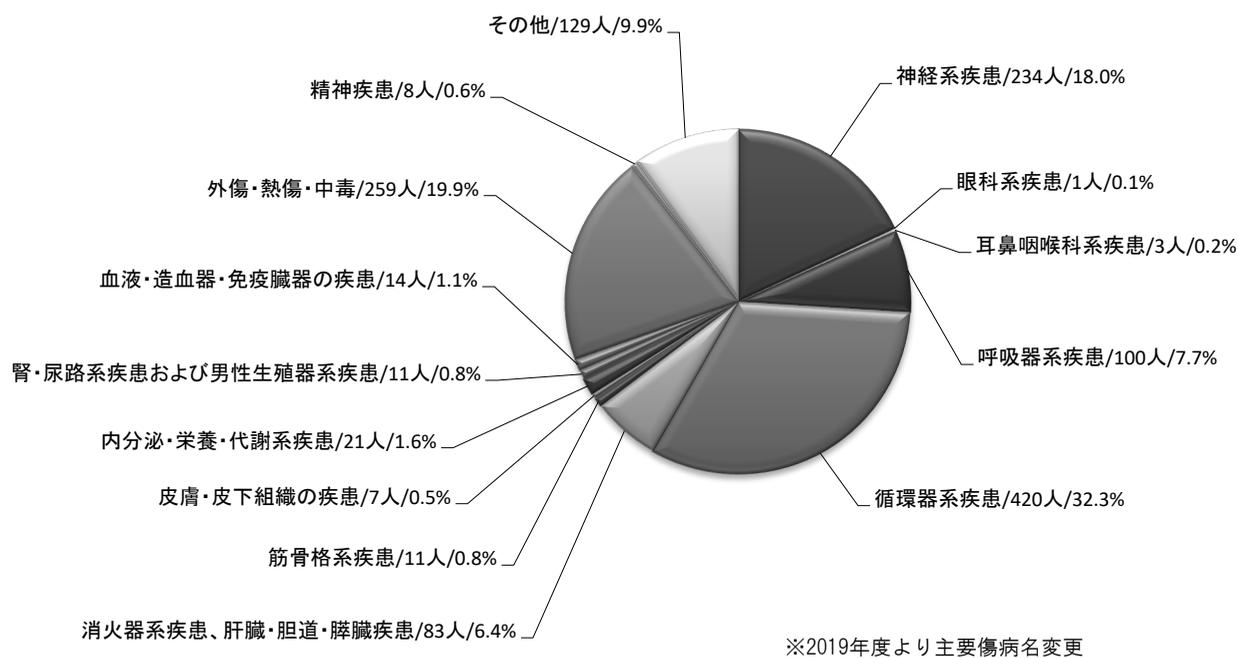
※EICU18床、救急病棟24床だったが、新型コロナウイルス感染症に係る特例措置のため、2021年2月以降はEICU24床、救急病棟18床となった。

利用率 = $\frac{\text{在院(室)延患者数}}{\text{実働延病床数}}$	稼働率 = $\frac{\text{在院(室)延患者数} + \text{退院(室)転出患者数}}{\text{実働延病床数}}$
--	--

4-2 2020年度住所地別患者数の構成比率(合計1,301人)



4-3 2020年度主要傷病別患者数の構成比率(合計1,301人)



4-4 2020年度年齢別患者数の構成比率(合計1,301人)

